



# 桐生ロータリークラブ週報

2005年

国際ロータリー第2840地区 2005-2006年度 国際ロータリーのテーマ



## 超我の奉仕

# Service above self

R.I 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

善意というものがないなら

ロータリークラブは唯の社交クラブだ。

職業は金儲けのためでしかなく、

社会奉仕というも施しにすぎず、

国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

バストガバナー 前原勝樹

会長 館 盛治 幹事 川島 康雄

クラブ会報・広報委員会 木村 滋洋 藤井 征夫 佐々木 裕 吉野雅比古 石島 久司 大友 一之

7月25日号

## 第2531回例会

(7月11日(月) 第2例会)

- 1. 点鐘
- 2. ロータリーソング斉唱
- 3. 来訪者紹介
- 4. 出席100%表彰
- 5. 会長の時間

- 6. 幹事報告
- 7. 委員会報告
- 8. 卓話 「新年度を迎えて」  
クラブ奉仕委員長 金子篤郎君  
職業奉仕委員長 吉野雅比古君
- 9. 点鐘

### 出席100%表彰

前原 正一君 14回  
本田雄一郎君 1回



### 会長の時間

今日は、第2回目の例会となります。少しあはらついて出来るところだと思います。7月の第1、第2週にかけては、川島幹事ともども桐生4RCの例会への表敬訪問で忙しい日が続きました。久しぶりに4RCの例会に出席してきました。そしてそれぞれのクラブの例会方式や進行を見て、聞いて、体験してきました。メイクの折にはいろいろのクラブを訪問されることをお勧めします。勉強になると思います。4RCの例会場はどこも近代的な建物で、設備も整い、あか抜けた広い部屋で、あたたかな食事と、給仕人と、いたれり尽せりのスマートな例会でした。

そして各クラブの会長、幹事から聞くところによると、その費用負担も、会場費、食事費を含んでも我がクラブの半分以下で賄われているのを知り、40名弱の会員でもクラブ運営が出来ることが少しわかりました。ところで我が家がクラブの例会場は、色やけした壁の中の木枠の窓に囲われ、設備や照明も少々古いままで、重厚な雰囲気を感じる潤いのある会場です。しかも食事の用意・例会配置を、SAA・親睦活動委員会を先頭に会員全員が汗を流して運営しています。全国のRCの中でも大変希少なクラブで、これから先踏襲していかなければならないと思います。そのためにはどうしてもしなければならないことがあります。この歴史と伝統を維持して行くためには桐生RCの会員は65名は必要です。どうか会員増強をまず念頭に置いて、ご協力の程、会員皆様にお願い致します。

### 幹事報告

○桐生西、桐生中央、桐生赤城、足利の各RCより週報到着。

### 委員会報告

#### 出席委員会

本日の出席(平成17年7月11日)：総員62名・出席37名  
平成17年6月27日例会修正出席率：79.59%

#### 新世代奉仕委員会

2005年7月10日(日)会場／県庁(昭和庁舎)  
RI2840地区 2005～2006年度インタークト顧問教師ロータリアン合同会議に出席してきました。本田

#### ニコニコボックス

藤井征夫君…副SAA岸省吾さん・坂入勝さんの名コンビでロータリーの活性化を牛脇章君…前原勝良先生から、自家製ヨーグルトの作り方のレシピと製造機を頂きました。毎日美味しいヨーグルトを食べてます。／金子篤郎君…卓話をさせて頂きます／久保田裕一君…直前会長・理事退任致します／本田雄一郎君・前原正一君…出席100%／前原勝良君…群馬TVに出ていた様です／坂入勝君・岸省吾君・吉野一郎君・吉野雅比古君・坪井良廣君・前原正一君・川村隆君・養田隆君・牛脇章君・八木橋祥介君・矢野昭君・堀明君・村田勝俊君・篠田一君・久保田裕一君・藤江篤君・岸田信克君・前原勝良君・疋田博之君・森末廣君・山崎一順君…写真を戴きました／大友一之君…写真を戴きました。これからも宜敷くお願いします。／佐々木裕君…週報さんに写真を戴きました

### 卓話



「新年度を迎えて」

2005～2006年度  
クラブ奉仕委員長  
金子篤郎君

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/> メール Kiryu-rc@ktv.ne.jp

今年度、クラブ奉仕委員長に就きました、金子でございます。大変恐縮ですが会長エレクトを兼務し、次期会長として、ロータリーに大変精通致しております、ミスターロータリーの館会長の見習いを向こう1年間行います。クラブ奉仕委員会は、蓮 直孝君・牛脇 章君・養田 隆君との4名にて運営してまいります。宜しくご協力の程お願い致します。

今年度も例年にならない、クラブ奉仕関連の委員会を3ブロックに分け、Aブロック(出席、プログラム、親睦活動、ニコニコ箱)の各委員会を蓮 直孝君。Bブロック(職業分類・会員選考、会員増強、ロータリー情報)の各委員会を牛脇 章君。Cブロック(雑誌、クラブ会報・広報、歴史編纂・情報処理)の各委員会を養田 隆君。の3人の幹事経験者に担当して頂き、各委員会間の連絡調整、家庭集会開催による会員相互の親睦を図ることで、活発な委員会活動が展開されるよう努力、務めたいと思います。

本年度の曾我隆一ガバナーが第二世纪を迎えたロータリーは、今大きな危機に直面しています。その危機の本質は、ロータリーの原点が見失われ、ロータリーの魅力が喪失しつつあることです。その結果が会員の減少となっていると述べています。この危機を打破する為には「クラブ強化」が必要だと思います。館会長の今年度の目標の一つであります「クラブ活性化の為会員増強委員会を強化し会員純増3名を達成したい」との事、これに向かって担当委員会とも連携しながら努力してゆく所存です。又同時に退会者が出ないよう関連委員会と一緒により強固な連携をはかっていかなければなりません。

又、桐生RC総合企画特別委員会が今年度再スタートし、クラブリーダーシッププラン「CLP」に基づき、クラブ組織の簡素化・効率化して先ず「クラブの活性化」に繋げ、魅力あるロータリークラブにすることが今年度の方針だと、館会長は述べております。なお(本年度はCLPの理解と摘要、検討の移行年度となります)

桐生RC総合企画特別委員会の運営に対しても、クラブ奉仕委員会は協力しクラブ運営の簡素化、効率化会員のロータリー活動に対するモチベーションの確立等の「クラブ活性化」のキーワードになる基本と未来に向けてのビジョン作りを推進する手伝いができると思っております。

会員の皆様のご支援とご協力とご鞭撻を偏にお願い申上げます。

今年度、会長エレクトを命じられました。歴代会長エレクトにくらべ浅学非才ではありますが、堀副幹事というよきパートナーを得ましたので、頑張ってまいりますのでよろしくお願ひいたします。1990年7月(15年前)の卓話で「新年度を迎えて」と言うことで、下山嘉一郎会員の卓話の中でエレクト(会長)についての話があり、辞書を改めて引いてみたら、もちろん「選ぶ」という意味ですが、「神に選別された」という意味のあることが眼にとまり、身のしまる思いでありました、と話されておりました。私などはこの1年間本当に身のしまる思いで過ごすことであろうし、本番の1年間は身の震えが止まらない1年になることでしょう。

より一層のお力添えとご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 「新年度を迎えて」

2005~2006年度  
職業奉仕委員長  
吉野 雅比古 君

2005年~2006年度、職業奉仕委員長を務めさせて頂きます、吉野雅比古です。副委員長に竹内康雄会員、委員として五十嵐健雄会員、山崎一順会員、前川佳彰会員という重鎮、新進気鋭を取り揃えたメンバー構成にて、館会長、川島幹事に極力御迷惑をかけないように無事一年を過ごして行こうと考えております。

委員長就任に当たりましては、まず最初に川島幹事よりお電話を頂きました。そして、館会長、川島幹事より直接、職業奉仕委員長就任依頼をされました。例会もさることながら、主に例会以外の場にて、今まで面倒を見て顶いたことを思い起こしますと、断ることもできず、はなはだ力不足とは思っておりますが、勉強させて頂くつもりで要請を受け入れました。

ロータリークラブの中では、職業奉仕委員会は四天王の一つに位置付けられている委員会であります。当委員会活動は所属しているクラブの会員全員が、一人一人の関係する職業に於いて、責任を持って常日頃の業務を成し遂げ、

更に従来の活動だけに留まらず、レベルを上げられるようお互いに指導と援助を積極的に行うことを目標としています。しかし、一番重要なことは、事業の継続であると考えます。個人事業主であれ、法人経営者であれ、事業が立ち行かなくなってしまえばすべてが終わりです。兎に角、企業の維持存続が最優先課題であります。それが前提となり、ハイレベルに持ち上げられるよう努力をするのです。また、関連する委員会と連絡を密にして、情報交換を行い、眞の意味での快適な社会の実現を目指して行こうと思います。硬い言葉で言いますと、「全職業に於ける高い道徳的水準の推進励行」であります。

活動状況と致しましては、例年同様、毎月1回、主に第一例会に於いて、「四つのテスト」の唱和を行ないたいと思います。前半の活動目標としては、10月の職業奉仕月間に於いて、優良従業員表彰を考えております。また、会員の中から職業奉仕に関する有意義なスピーチをして頂ける方を探し当てたいと思っております。更に、後半の活動目標としては、優良事業所の見学や卓越した職場について勉強をしたいと考えています。これらのことの実行は私一人の力では限界があると思われます。委員会所属の皆様、館会長、川島幹事に『報告、連絡、相談』を密にさせて頂き、より良い方策を見出したいと考えております。実施する際には、会員皆様の絶大なる御支援、御協力を宜しくお願い申し上げます。

ではこの場をお借りして、私が体験し、実際に感じたロータリー活動についてお話ししたいと思います。会員皆様の心温まる御配慮のもと、入会することを許してもらいました。そして、平成12年(2000年)7月31日、第2316回例会の席で、入会式を行ってもらい、当時の八木橋会長よりスースーにバッチをつけて頂きました。例会が始まる前、少し早めにこの2階の例会場に入ったのですが、非常に敷居が高かったと記憶しております。更に、この7月31日は、その当時はまだ珍しかった中高一貫教育を標榜した学校法人明照学園、樹徳中学校を設立するに当たり、建物を建設する起工式が行なわれた日でもありました。私が代表取締役社長を務めている桐生建設株式会社が『樹徳中学校校舎新築工事』を全て請け負わせて頂きました。起工式後の直会の席で多くの来賓、学校関係者の前での挨拶の後、桐生RC入会挨拶をさせてもらったことをついこの間の事のように鮮明に覚えております。今でも新川公園の前にある樹徳中学校及びその3年後、同じ敷地内に於いて、新築工事を請け負わせて頂いた樹徳高等学校の前を通る度に、桐生ロータリークラブの入会当時を思い出します。最初の委員会はクラブ会報委員会でした。7月末日の入会ですから、11ヵ月間勉強したことになります。委員長は松島宏明さんでした。入会一年目の一番の思い出は、当時の牛脇親睦活動委員長、現館会長、そして退会された村田陽一郎さんらその時の親睦活動委員会の皆様に銘え上げられ、クリスマス会で披露した新入会員の余興『与話情浮名横櫛、源氏店(よわなさけうきなのこぐし、げんやだな)』の蝙蝠の安(こうもりのやす)を演じさせてもらつたことであります。NTTの園田支店長、横浜銀行の館野支店長とともに練習に練習を重ね、本番に臨みました。実際7回程合同練習をさせて頂きました。練習後は毎回懇親会でした。第一回は台詞の読み合わせでしたが、私一人出遅れてしましました。お酒を一緒に飲み、議論をしたからこそ強い結束が生まれ、私も乗り遅れることなく、演技ができたのではないかと思っております。しかしクリスマス会当日は、後から入会された前原勝良会員が劇の最後に熱唱された『お富さん』に聴衆の心を奪われてしまったことは誠に残念な思い出であります。2001年~2002年度からは木村滋洸委員長のもと、副SAAでした。2002年~2003年度はまたクラブ会報広報委員会に戻り、阿部会長のもと、初めての委員長をさせて頂きました。この年は創立50周年記念行事が行なわれた年でした。2003年~2004年度はまたSAAに戻り、森末廣委員長の下で2回目の副SAAをしました。このように比較的忙しい委員会を渡り歩いております。昨年度、2004年~2005年度はニコニコ箱委員会所属となりました。藤井征夫委員長が特に熱心であり、村田勝俊会員も優秀で出席率も高く、非常に楽な委員会に漸く入れて頂いたと内心喜んでおりました。しかし、早めに例会場に見えて、何もかも準備をしてくれた藤井委員長が病に倒れてからは、忙しくなってしまいました。

私が今まで所属した委員会は、年間を通じて、二人いれば比較的余裕を持って仕事をすることができますが、一人だけですと忙しい思いをしなければならない状況です。ロータリーというところは、出席率の良い会員程大変な思いをするところなのだとそういうことが良く理解できました。仕事優先は当然のことです。これからもできるだけのことはしようと心に決めております。